

Cone-beam CT を用いた胸部外科手術の有用性の研究 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2020年6月23日 ~ 2025年12月31日

〔研究課題〕 Cone-beam CT を用いた胸部外科手術の有用性の研究

〔研究目的〕 Cone-beam CT を用いた胸部外科手術の有用性について、従来法と比較検討します

〔研究意義〕 早期肺がん発見を目的とした“低線量 CT 検診”の普及とともに、外科医が手術中に同定困難なほど小さい病変が多く見つかるようになりました。帝京大学ではハイブリッド手術室で CT 撮影しながら病変同定を行っています(ハイブリッド手術)。ハイブリッド手術と従来法を比較検討することで、それぞれの利点・欠点を明らかにしていきます。

〔対象・研究方法〕 2017年11月1日から2021年4月30日の期間に、当科で外科的治療を行った患者さんのうち、手術中に何らかのマーキング方法を必要とした方が対象になります。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院

〔研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク〕 ありません

〔研究対象者に生じる利益〕 ありません

〔研究参加撤回の申し出方法〕 当院研究責任者への問い合わせ(連絡先は下記に記載)

〔研究参加撤回の申し出期間〕 2025年12月31日まで

〔個人情報の取り扱い〕 カルテから抽出する段階で匿名化を行い、個人が特定できる情報は取り扱いません。

〔利益相反〕 本研究に必要な経費は、帝京大学外科学講座より支払われます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学医学部外科学講座 准教授 齋藤雄一

〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL: 03-3964-1211